

■コメント

1. 流行性耳下腺炎

定点当たり2.13人と、例年同時期と比べて多い状況が続いています。

近年、広島市では2005年、2010年頃を中心に数年にわたり流行しました。流行期には長期にわたり報告がみられますので、今後も注意が必要です。

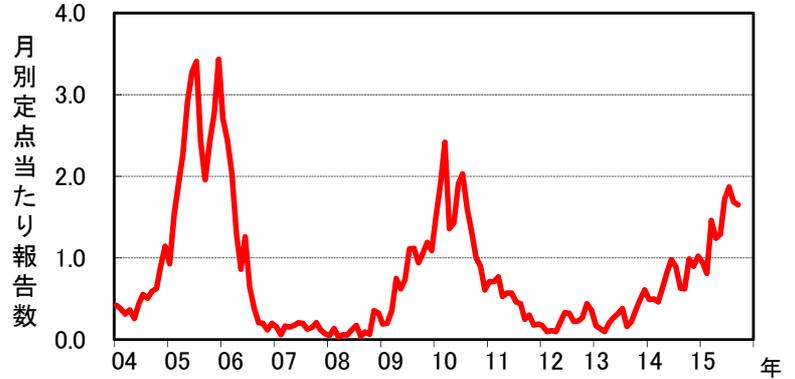
手洗い・うがいの励行など感染予防対策を心がけましょう。

2. デング熱

1件(推定感染地: 国外)の報告があり、今年の累計は2件となりました。

デング熱は、蚊が媒介する感染症です。蚊媒介感染症が流行している国を訪れる際には、昆虫忌避剤の使用、屋外活動時は長袖・長ズボンを着用するなど、蚊に刺されないように注意しましょう。

流行性耳下腺炎の流行状況



前週(第39週)は、シルバーウィーク期間中の医療機関休診の影響があるため、第40週の疾患の増減の評価及び「定点把握感染症報告状況(週報対象)」(下表)の発生記号の表示は、前々週(第38週)との比較で行っています。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィレン	インフルエンザ	-	-	0.06	
小児科	咽頭結膜熱	5	0.21	0.28	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	40	1.67	0.97	⇒
	感染性胃腸炎	83	3.46	3.29	⇒
	水痘	5	0.21	0.74	
	手足口病	71	2.96	0.83	⇒
	伝染性紅斑	10	0.42	0.10	⇒
	突発性発しん	12	0.50	0.55	
	百日咳	2	0.08	0.13	
	ヘルパンギーナ	8	0.33	0.24	⇒
	眼科	流行性耳下腺炎	51	2.13	0.42
RSウイルス感染症		28	1.17	0.81	⇒
急性出血性結膜炎		1	0.13	0.03	
流行性角結膜炎		10	1.25	0.78	
基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	無菌性髄膜炎	1	0.14	0.11	
	マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.23	
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	⇔		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	118	男性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・1人、女性(80歳代)・1人、男性(90歳代)・1人、女性(90歳代)・1人
4	デング熱	1	2	男性(30歳代)・市外・推定感染地域: 国外
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	19	男性(80歳代)

## ■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	報告地	週次	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎	
			第36週	1	4	37	74	9	121	6	13	-	16	46	22	-	11	-	1	1	-	-	-
第37週	10	13	47	74	6	176	7	10	1	24	40	35	-	15	-	-	2	-	-	-	-	-	
第38週	6	2	46	79	11	144	19	13	2	17	28	44	-	13	-	-	1	-	-	-	-	-	
第39週	-	5	30	50	2	82	11	7	7	8	39	24	-	20	-	-	2	-	-	-	-	-	
第40週	-	5	40	83	5	71	10	12	2	8	51	28	1	10	-	-	1	2	-	-	-	-	
定点当たり	広島市	第36週	0.03	0.17	1.54	3.08	0.38	5.04	0.25	0.54	-	0.67	1.92	0.92	-	1.38	-	0.14	0.14	-	-	-	-
		第37週	0.27	0.54	1.96	3.08	0.25	7.33	0.29	0.42	0.04	1.00	1.67	1.46	-	1.88	-	-	0.29	-	-	-	-
		第38週	0.16	0.08	1.92	3.29	0.46	6.00	0.79	0.54	0.08	0.71	1.17	1.83	-	1.63	-	-	0.14	-	-	-	-
		第39週	-	0.21	1.25	2.08	0.08	3.42	0.46	0.29	0.29	0.33	1.63	1.00	-	2.50	-	-	0.29	-	-	-	-
		第40週	-	0.21	1.67	3.46	0.21	2.96	0.42	0.50	0.08	0.33	2.13	1.17	0.13	1.25	-	-	0.14	0.29	-	-	-
全国	第38週	0.06	0.31	1.69	3.17	0.28	4.48	0.47	0.56	0.02	0.81	0.54	0.96	0.01	1.04	0.01	0.07	0.56	0.02	0.01	-	-	
	第39週	0.05	0.18	0.94	2.01	0.25	2.41	0.29	0.35	0.01	0.34	0.45	0.64	0.01	0.84	0.03	0.04	0.50	0.01	-	-	-	

## ■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
手足口病	不詳	1	女	2015/08/25	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA6型
手足口病	発熱(38.0) 口内炎 上気道炎	2	男	2015/08/29	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA6型
流行性耳下腺炎	発熱(40.0) 嘔吐 下痢 腹痛	17	男	2015/08/22	髄液	ムンプスウイルス
川崎病	発熱(38.6) 発疹 リンパ節腫脹	0	男	2015/08/24	咽頭拭い液	ライノウイルス

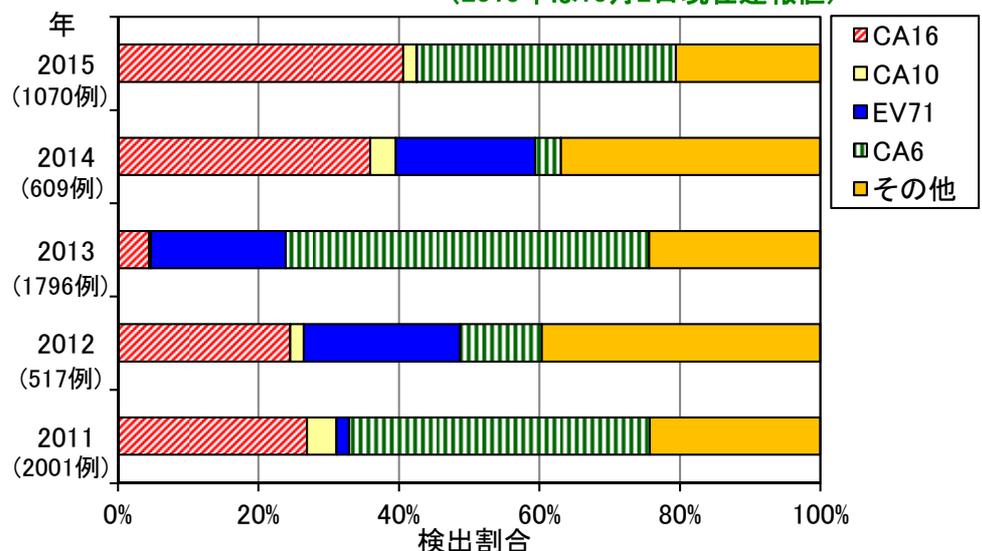
\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

## 【参考】全国における手足口病患者からのウイルス検出状況(出典: 国立感染症研究所)

(2015年は10月2日現在速報値)

手足口病の原因ウイルスは、主にコクサッキーウイルスA16型(CA16)、エンテロウイルス71型(EV71)で、その他コクサッキーウイルスA6型(CA6)やコクサッキーウイルスA10型(CA10)などによっても発症します。

近年、大きな流行がみられた2011年と2013年はCA6が多く検出されましたが、2015年は全国的にCA16がやや多い傾向となっています。



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

### 【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号  
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2015年第40週(9月28日~10月4日)